

# いざ発たん 素志貫く旅へ

## 培った知性・徳性を誇りに



第43回卒業式挙行  
卒業生 246名



國學院大學  
栃木短期大学  
栃木市平井町608  
〒328-8588  
TEL0282-22-5511  
FAX0282-22-5743  
編集 学報編集部

第165号

春あさき光りのなかに  
別れ行く 明けきこゑの  
坂に こだます  
『山毛櫨の叢』以後 千勝三喜男



▲総代に卒業証書を授与する中村幸弘  
学長

▲開式を前に40周年記念館前で卒業を  
喜び合う卒業生

(写真はいずれも第42回卒業式より)

第43回卒業式は、3月18日  
午前10時30分より学園40周年  
記念館を式場として来賓・教  
職員・ご父母が列席し、厳肅  
且つ盛大に執り行われる。

式は、国歌斉唱ではじまり、  
中村幸弘学長から各学科の総  
代に卒業証書が授与される。

総代をつとめるのは、国文学  
科は齊藤真美さん、家政学  
科は吉川苑子さん、初等教育  
学科は島田麻理恵さん、日本  
史学科は三嶋紋佳さん、商学  
科は平形香名さんである。

中村学長告辞、木村好成学  
園理事長祝辞につづき、福田  
富一栃木県知事、本学同窓会  
「斯花会」を代表し、第8期  
国文学科卒業前橋(旧姓笹井)  
陽子さんより来賓祝辞をいた  
だく。

在学生を代表し、中村伸子  
新学生会長(家政学科1年)  
が送辞を述べ、これに应运、  
卒業生を代表し、国文学科齋  
藤愛美さんが答辞を述べる。

「仰げば尊し」を合唱し、  
卒業生よりの記念品目録が高  
橋翼前学生会長から中村学長  
に手渡される。最後に校歌斉  
唱、「蛍の光」を合唱して式  
を閉じる。

式終了後、各クラス担任か  
ら卒業生一人ひとりに卒業証  
書が手渡され、喜びを胸に学  
舎を巣立つていく。

### 佐々木賞を6名に授与

この賞は、佐々木周二学園  
長記念奨学金制度を基に作ら  
れたもので、各学科の成績・  
人物ともに優秀な者に、賞状  
とブロンズ像(二科会員・鷺  
崎直子本学教授制作)が授与  
される。受賞者は次の通り。

国文学科 齋藤 愛美  
国文学科 齊藤 真美  
家政学科 吉川 苑子  
初等教育学科 島田麻理恵  
日本史学科 三嶋 紋佳  
商学科 平形 香名

### 第43期卒業生数

( )内は第1期生より通算

|        |      |          |
|--------|------|----------|
| 国文学科   | 67名  | (7,119)  |
| 家政学科   | 56名  | (4,601)  |
| 初等教育学科 | 33名  | (6,217)  |
| 日本史学科  | 52名  | (2,265)  |
| 商学科    | 38名  | (1,983)  |
| 総数     | 246名 | (22,185) |

人は、いつの時代も、歴史のはざまに

学長 中村幸弘

きょう、諸君は、この太平山麓の國學院大學栃木短期大学から巣立って行かれます。いま、ここでの二年間が凝縮されて思い出されていることと思います。

諸君が本学に入學した、その年は、前

## 卒業生に贈る言葉



平成二十年の春に迎えた第43期生も、二年間の蛍雪功成って、いよいよご卒業です。おめでとうございます。

本学での学びは修了しましたが、さらに大学等に進んで学業を積む方、社会人

生き甲斐ある人生を送るように

理事長・学監 木村好成

期の終講日や後期の開講日が、この一年とは違っていました。そのように、この二年の間でも、この一年は、セメスター制度の導入で、学年暦が変わったのです。人類が生きてきた地球はもとより、宇宙は変化を重ねて現在に至っています。殊に、この数年、世界経済は危機に見舞われて、急激な変革を迫られています。僅か生じた歪みを修正するための緩やかな変改こそが望まれるのですが、そうはいかない時期も、こうしてあるのです。私たちを取り巻くすべてについて極端な格差のない社会を求めて、しかし、今は、その目まぐるしいまでの激変に耐えていかなければなりません。43期生の諸

君は、変化の多い年度生でした。セメスター制だけでなく、韓国の協定大学からの留学生を迎えた初年度でもありました。国内を少しく見ても、裁判員制度の導入、そして、自民党から民主党へという、かつてない政権交代の年でもありました。時代をよく見据えて、本学で学んだ知識や技術をいつそうスキルアップ、キャリアアップしていつてください。それ以上、本学で培った、ものの見方や考え方を実生活に生かしていつてください。本学の教職員こそ、43期生諸君が二十一世紀の地球を支える一員として心豊かな人生を送ってくれることを祈念して、ここに卒業をお祝い申し上げます。

として職に就く方、すぐに家庭に入る方等々、いろいろなかたちで巣立ち行く皆さんですが、それぞれの前途に幸せ多いことを祈つてやみません。さて、私自身の人生を振り返りながら皆さんに饒の言葉を贈ります。それは、「今日、ただ今を、明るく、たくましく、生きなさい」、と言うこと。「人間、明日のことは分からない」などと言う人がいますが、「明日」は「今日」の続きです。「今日・現在・ただ今」の、の続きに明日があり、未来があるのです。「今日・現在・ただ今」、を「明るく」、「たくましく」生きれば、明日への道がおのずから拓けるものです。

私は、こどものころから柔道を習っていましたが、私どもの柔道の師・三船久蔵十段は、「今日のことは今日、今日の楽しみは明日」、ということをおっしゃっていました。「今日行うべきことは今日、ただ今、ただ今に行きなさい。今日行うべきことを、明日に延ばしてはいけない」、ということ。そのためには、「今日の楽しみごと・遊びごと、明日しなさい」、ということです。明日になって迎えたその日は、また今日ですから、「今日のことは今日、今日の楽しみことは明日」ということになります。そのようにして一所懸命に努力した結果が三船先生を柔道十段という最高段に列せしめたのです。

住んでいる近辺では、不況で新築中の家を見ることが少なくなりました。それでも土地の開発は進み、青田を渡る爽やかな風や、耳を圧する蛙の声は遠い昔のことになった。点在していた森や林、沼や池は無くなってきた。そんな地域で、昨年の春に大鷹を見た。飛翔する姿は美しく、素晴らしい。巣は少し離れた森にあった。枯れ木を組み上げた巣が、大木の高い枝にあった。その後大鷹を見ることは出来なかつたが、六月に雛の声を聞くことが出来た。巣立ち直前で、高音の鋭い鳴き声だった。巣立ちの決意が伝わってくると思えた。人生の節目に、人は心に決めることがあると思う。決めたことは一様でなくとも、決意は顔色に眼に姿に表れる。その清々しさが伝わる。卒業おめでとう。

巣立つ

教養科目・教授

佐藤圭一



住んでいる近辺では、不況で新築中の家を見ることが少なくなりました。それでも土地の開発は進み、青田を渡る爽やかな風や、耳を圧する蛙の声は遠い昔のことになった。点在していた森や林、沼や池は無くなってきた。そんな地域で、昨年の春に大鷹を見た。飛翔する姿は美しく、素晴らしい。巣は少し離れた森にあった。枯れ木を組み上げた巣が、大木の高い枝にあった。その後大鷹を見ることは出来なかつたが、六月に雛の声を聞くことが出来た。巣立ち直前で、高音の鋭い鳴き声だった。巣立ちの決意が伝わってくると思えた。人生の節目に、人は心に決めることがあると思う。決めたことは一様でなくとも、決意は顔色に眼に姿に表れる。その清々しさが伝わる。卒業おめでとう。

## 電子辞書を携帯しよう

国文学科長・教授

林 田 孝 和



わたしは昭和三十五年に國學院大學に入学しましたが、そのころ、金田一京助先生がまだご健在でした。金田一先生はアイヌの叙事詩・ユーカラの発見者です。四百名も入る満員の大教室で、初めてお話を拝聴しました。

これをきっかけに、先生のご講演をたびたび聴き、またご著書も読みました。そのなかで『北の人』（角川文庫、昭和三十一年）は忘れがたい一冊です。北海道アイヌのユーカラ解説のために単身樺太に渡られ、樺太アイヌ語の辞書作りまでされたエピソードには、深い感銘を受けました。人間の思考や行動は言語を媒体として認識されるといわれます。言葉を大切にしたいものです。わからない言葉はその場で確認できる電子辞書の携帯を、お勧めします。

## 進化と退化

家政学科長・教授

北 村 奉 正

筋肉は、鍛えれば発達し、寝たきりになれば衰弱します。進化論的には、人の体が環境に対して必要ならば適応でき、不要ならば退化することを示しています。進化のみでは、体が大きくなり過ぎ、非効率となります。不要なものは退化させ、進化に備える必要があるからです。

良い環境では、進化する必要がありません。飽食の今、



生活が便利になり、体力が不要となったので、次の過程は退化です。現に、児童の体力は低下しています。脳も鍛えないと低下します。腹八分目運動、適度なストレス、暑さ・寒さも必要なのです。卒業生の皆さんは、若いので適応性に優れています。今後頭を使い、社会から逃げることなく挑戦しましょう。

## 「学如不及」

初等教育学科長・教授

大 西 秀 彦



今からおよそ千年ほど前、日本で最初に「倭名類聚鈔」という漢和辞典が作られました。その中で、教育を意味する言葉では「教」と「学」の二つの言語が記載されているといえます。しかし、「教」は

わずかで「学」が圧倒的に多く使われているということですから。つまり、日本の伝統的な教育観は、教師が「教える」という行為よりも、学習者が「学ぶ」という行為によって成り立っていることを示しているのです。

現在でも職人の技能の伝達には、師匠に「教えて」もらうのではなく、「学ぶ」（語源は「まねる」）ものという考え方が残っているといえます。卒業生の皆さんも「自学自習」の気持ちを忘れず、自分の世界を切り開いてください。

## いつも心ときめかせて

日本史学科長・教授

酒 寄 雅 志

二月十九日の新聞に八〇五年、空海が唐からもたらした、幻の論文とされてきた「三教不斉論」（さんぎようふせいろん）を、最澄も唐から持ち帰り、滋賀県大津市の石山寺にその写本が保管されていたことが報じられました。

このニュースに接して、これまで不明であつた最澄の中国台州臨海県における求法の一端が明らかになったことに、



大いに驚きました。また私自身新たな研究の可能性を見出し、心ときめきました。

二年間、歴史を学んできた皆さんも、在学中、心ときめく歴史との出会いがありましたか。卒業後は、それぞれ異なる道を歩むわけですが、歴史はもとより、色々な面で新たなときめきを求め、心豊かな人生を送って下さい。君の前途に幸あらんことを。

## アンテナをはって

商学科・教授

秋 山 誠 一



皆さんの短大生活は大きな時代の変化の時とかさなりました。米国ではオバマ大統領が就任し、日本では政権交代が起こりました。

さらにサブプライムローンの焦げつきに端を発する世界金融危機のただなかで、世界経済危機が発生して、米国の景気後退のため、日本経済も輸出産業の業績が急速に悪化し、派遣切りが大きな問題となりました。その中の就職活動は大変だったことでしょう。でも経済は生きもの、悪い時の後には必ず良い時がきます。社会に出ると、日々の仕事に忙しく、つい社会への関心を無くしがちになりますが、時々はこのような世界や日本の動きに目を向けてほしいと思います。就職活動で分かったように、それは自分の運命や生活に関わるのですから。



## はなむけの言葉 — 担任より

### 永遠の絆

教授 田中憲二(国2-1)

卒業おめでとうございます。短大生活はいかがでしたか？卒業後は、各自の選んだ道を、幸せを求めて、誇り高く歩んでいってください。けれど、これで本学との絆が切れるわけではないのです。一生精神的紐帯のような関係が続くのです。ですから、母校を思い出したら、またこの学園に足を向けてください。いつでもお待ちいたしております。ではさようなら。お元気で。

### 辞書を座右に

教授 南芳公(国2-2)

敷島ややまと言葉の海にして拾ひし玉はみがかれにけり(続古今集・巻第二十・賀歌)この歌は、大槻文彦がその著『言海』で引いたものです。

妻子に先立たれながらも刻苦して初めて近代的な国語辞書を独力完成させた生涯は、高田宏『言葉の海へ』でも知られています。多くの先人の苦心のもとに、今ある国語辞典。

その一冊を常に座右に置き、言葉を大切にする社会人になつて下さい。では、お元気で。

### 必要とされる役割

准教授 小川浩子(家2-1)

今、眩しいほどに輝いている皆さん。ご卒業おめでとうございます。

それぞれの目標に向かって新たなスタートですね。これからの道程は皆さんを大きく成長させてくれます。

もし途中で自信を失いかけた時には、誰にも必要とされる役割があるという事、心が折れそうになった時には、多くの友達と頑張った事、笑い合った事を思い出してください。そして、「でんでん虫のかなしみを咥いてみてください。

### いつも笑顔で

教授 山内見和(家2-1)

ご卒業おめでとうございませう。楽しかったこと、苦しかったこと、辛かったこと、いろいろなことが、皆さんをとっても美しく、たくましくしてくれたことと思います。

不況の中での卒業ですが、これからも短大時代の経験をいかし、いつも笑顔で、健康に気をつけてがんばって下さい。皆さんの今後のご活躍をお祈りします。

### 生きていく君たちへ

教授 坂口耕史(初2-1)

「卑しいものが勝ちほこりい、ちばんまいなものがいびりぬかれていくこんにち……」と、詩人・白井愛が書いた。

そのような社会の中で、かけがえのない、一度だけの人生を君たちは生きていく。そのことを思えば、君たちの人生にしあわせ多いことを心から願わずにはおられない。

どんなに苦しいことが重なるっても、夜の闇がどんなに深くても、明けない夜はない。勇気をもって生きなさい。

### 隅を大切に

教授 杉浦左知(初2-2)

小学校や幼稚園の先生は目のはし隅で教室の隅の子どもを見届けます。心の隅には不安や疑問が宿り、喜びや恋も芽生えます。社会の隅には課題の存在と同時に、可能性もあります。余裕の無い時は物事の処理に精一杯で、隅の

小さなことを忘れがちです。仕事でも趣味でも、小さなことならきつと社会人一年生にも挑戦できるはずですよ。

「一隅を照らす」という言葉を贈り、卒業をお祝いします。

### 卒業おめでとう

講師 坂本達彦(史2-1)

新生活のスタートですね。

皆さんが学んだ歴史学は史料を客観的に分析し、過去の事実を解明・評価する学問です。新たな環境では、皆さんが戸惑うこと、つまづくこともあると思います。そんな時はパニックにならず、いったん立ち止まり、自分や周囲を客観的に見つめなおすことで解決策が見つかるかもしれません。この二年間で学んだモノの見た方が、これからの人生に役立つことを祈っています。

### 歴史は歩いて見よ

准教授 小林青樹(史2-2)

大学の北西にある太平山には、たくさん歴史的文化遺産があります。最近、日本史学科では、今回の卒業生を中心に山の尾根筋を歩き回り、中世に栃木市を支配した皆川氏に関わる山城の実態を調査しました。歴史を理解する一

つの方法として、自分の足で歩き自分の眼で見ることは大事なことです。卒業しても、歴史は歩いて見よの精神はぜひ忘れずに。卒業おめでとう。

### 継続は力なり

講師 堀江則之(商2-1)

ご卒業おめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。これから進学する者はもちろんですが、就職する者も日々、勉強の連続です。勉強は、毎日少しずつでも継続してやりましょう。将来、皆さんの生きる支えとなります。

またいつか、皆さんとお会いできることを楽しみに贈る言葉といたします。

### 思いやりと感謝を忘れずに

講師 吉田真理子(商2-2)

ご卒業おめでとうございませう。皆さんはこれから社会に出て、ときには壁に突き当たることがあるでしょう。貴方を支えてくれた人々のありがたさが、あとからきつとわかるはずですよ。いつも謙虚な気持ちで相手の声に耳を傾け、相手を思いやる気持ちと感謝の気持ちを忘れずに持ち続けて下さい。そして、自信を持つて一歩を踏み出して下さい。



## 退任の辞

## 終わりの心

教授 算数 正木 孝昌



最後の最後の授業は生徒指導論だった。私の専門の算数科とは、ちよつと距離のある講義だ。しかし、学生たちの求めているものを手探りで求めながら楽しく続けてきた授業だった。それにしても、あの花束をいつの間にかベランダに持ち込んだんだろう。私は彼らが来る前から教室にいたし、ベランダに出た人は誰もいなかったはずだ。それなのに、授業が終わったとき、男子学生の一人がそつと、引き戸を開けてベランダに出、そして花束を掲げて入ってきた。そして、全員出席のメンバーが起立した。みんな笑顔だった。「先生、ありがとうございます」「ありがとうございました」みんなにお礼を言

われると、思わず涙が出た。みんなの優しさと暖かさが身に染みた。手渡された手紙に「この授業を受けて本当によかった」とあった。

小学生から大学生へと40年間、人と向き合う仕事をしてきた。決して順風満帆ばかりではなかったが、素晴らしい日々だった。特に、この大学での十年は充実していた。他の大学に勤める仲間たちから「この頃の学生は私語が多くて授業にならない」などという話を聞いていたが、ここで私はそんな辛さは全く経験していない。みんな爽やかで、素直だった。初心があるなら、終わりの心もあるだろう。私の終わりの心は未練と感謝である。生まれ変わってもまた、こんな暖かい優しい世界で仕事をしたと思う。

## おわかれにあたって

准教授 美術史 佐多 芳彦



時間が過ぎるのは実に早いものです。一年間がこんなに早く感じたのは本当に久しぶりのことです。右も左もわからぬまま、ただ、がむしやりに駆け抜けた、という印象です。でも、一瞬の間、人とお話し合う仕事をしてきた。決して充実していたことの裏返しであらうと思います。非常勤講師として本学の教壇に立つて10年、専任教員として1年、計11年もここにいたことを今更ながら思い、感慨に耽つてしまいがちです。

この11年、本当にいろいろなことをこのキャンパスで学びました。いろいろな経験をしました。みなさんも、2年間のあいだにいろいろなことを経験し、学び、考え、また、新たな一歩を踏み出すでしょう。1年生は2年生に、2年生は外の世界に一歩を踏み出すでしょう。僕も他所へ移り、また一からすべてをはじめようと思います。ともに、いつまでも元気で頑張りましょう。

皆さんのこともこの大学のことも生涯忘れることはないと思います。ここで知り合った全ての人々に心から感謝しています。どうもありがとうございます。

## 第43期生のあゆみ

## 平成20年度 (1年次)

4. 7 第43回入学式 (274名)  
4. 8 学長講演  
4. 8～12 オリエンテーション・健康診断  
4. 11～12 商学科合宿研修  
4. 21 履修届提出  
4. 23 日光親睦旅行  
5. 15 体育祭  
6. 7 歌舞伎鑑賞教室  
6. 16 初等教育学科幼稚園・小学校観察  
6. 17～19 初等教育学科あきやま学寮宿泊研修  
7. 8 国文学科文学散歩  
7. 8 家政学科フード系見学会  
7. 8 日本史学科史料調査  
7. 8～17 集中講義・補習講義  
7. 12 初等教育学科講演会  
7. 15～17 日本史学科古文書調査実習  
7. 17 日本史学科栃木県立博物館実務見学  
7. 18～8. 31 夏季休暇  
8. 4～12 日本史学科考古学実習発掘調査(長岡市)  
8. 21～29 日本史学科考古学実習発掘調査(栃木市)  
8. 29～30 国文学科コース別課外研修  
9. 16～27 前期試験  
9. 26 新聞の活用セミナー  
10. 9 学園創立48周年記念式典  
10. 9 学園創立記念日  
10. 15～16 秋季研修旅行  
11. 12 国文学科講演会  
11. 23～24 第42回花祭  
12. 9～18 集中講義・補習講義  
12. 12 就職ガイダンス  
12. 15～16 日本史学科古文書調査実習  
12. 18 家政学科臨床検査実習  
12. 19～1. 7 冬季休暇  
1. 18 第31回合唱団定期演奏会  
2. 4 日本史学科講演会  
2. 17～28 後期試験  
3. 2 進路ガイダンス  
3. 3 日本史学科卒業研究発表会・史学会総会  
3. 4 家政学科普通救命講習会  
3. 18 第42回卒業式

## 平成21年度 (2年次)

4. 6 第44回入学式・成績表交付  
4. 7 学長講演  
4. 7～11 オリエンテーション・健康診断  
4. 20 履修届提出  
5. 13 体育祭  
6. 1～27 国文・家政・日本史学科教育実習  
(～20 義護のみ)  
6. 15～19 初等教育学科教育の観察と参加  
7. 27～30 集中講義・補習講義  
7. 31～8. 6 前期試験  
8. 7～9 日本史学科古文書調査実習  
8. 7～9. 27 夏季休暇  
9. 7～10 集中講義・補習講義  
9. 15～22 日本史学科考古学フィールドワーク(栃木市)  
9. 19 後期履修届提出(家政学科)  
9. 26 日本史学科博物館見学  
10. 5～31 初等教育学科教育実習  
10. 9 学園創立49周年記念式典  
10. 9 学園創立記念日  
10. 17 家政学科医療管理秘書士能力認定試験  
11. 11 国文学科講演会  
11. 11 日本史学科講演会  
11. 22～23 第43回花祭  
12. 7～11 国文学科・日本史学科 卒業研究提出  
12. 9 初等教育学科教育実習報告会  
12. 12 初等教育学科講演会  
12. 20 家政学科フードスペシャリスト認定試験  
12. 21～24 集中講義・補習講義  
12. 25～1. 6 冬季休暇  
1. 22 初等教育学科 卒業研究・制作提出  
1. 25 家政学科臨床実習発表会  
1. 28～2. 1 集中講義・補習講義  
2. 2～9 後期試験  
2. 11 第32回合唱団定期演奏会  
2. 15 日本史学科卒業研究発表会  
2. 18～19 初等教育学科筑波大附属小参観  
2. 27 卒業確定者発表  
3. 17 卒業式予行  
3. 18 第43回卒業式 (246名)



## 日本史学科 史学会総会 卒業研究発表会

去る平成22年2月27日に、栃木駅前の本学園教育センターにおいて平成21年度の史学会総会と日本史学科卒業研究発表会を実施した。例年通り史学会総会を実施した後、司会などの進行を学生代表グループに譲り、卒業研究の報告を行った。なお、今回から初の試みとして各ゼミの口頭報告のほかに、2年生全員がポスター発表を実施した。

レクチャーホールで実施した口頭報告の演目は、以下の通りである。

- ・「管絃の仙」源博雅をめぐって「菊地亜美(古代史ゼミ)
- ・「中世茶湯の研究」須田雄介(中世史ゼミ)
- ・「下級武士にみる子どもの養育法について」伊藤理紗(近世史ゼミ)
- ・「新撰組の組織と財政に関する基礎的研究」寺川洋平(近代史ゼミ)
- ・「古代エジプトの考古学—新王国時代の宗教改革について—」中野知也(考古学ゼミ)



卒業研究の発表をする学生

・「中国近世食物史の考察」森下和樹(東洋史ゼミ)

・「ステンドグラスと教会堂」白尾由貴(美術史ゼミ)

今回から大ホールでの報告となったため、各報告者はかなり緊張していたようである。しかし、参加した1年生の多くは、パワーポイントによるプレゼンに見入り、発表後の討議中には白熱した場面もあった。

ポスター発表は、昼食後に教育センター二階のアートギャラリーを利用して、ボードを三列ほど並べ七つのゼミを二グループに分けて実施した。ポスター発表は、20分の間、ボードに掲示した自分のボスターの前に立ち、随時質問等に答える形式である。1年生

## 初等教育学科 教育実習報告会

12月9日、初等教育学科教育実習報告会が735教室で行われた。この会は、昨年10月に実施された教育実習の「事後指導」の一環として行われるもので、学生にとって大切な機会である。

教育実習の期間は4週間で、公立・私立の幼稚園または小学校で行わせていただいた。昨年度の報告会に参加して先輩の話から多くのことを学んで実習に臨んだ2年生が、今後さまざまな実習を経験する後輩のために、実習や就職に役立つ会にすべく、発表者の人選、資料の作成、会場設営、司会進行、発表をそれぞれ分担して行った。

当日は、教育実習の報告と

として、幼稚園5名、小学校3名、群馬県私立幼稚園教諭適性検査について2名が発表した。実習における研究授業や責任実習の体験、事前に準備しておくべきことや実習中気をつけることなどの報告に基づき、群馬県内の私立幼稚園教諭になるための説明がなされた。



幼稚園での教育実習の発表をする学生

教育実習を経験した2年生にとっては、確信を得られる部分と新たに気づかされる部分があり、卒業後就職に就いて実践で活用できる内容も多かった。2月から各実習に臨む1年生にとっては、実習に対する不安が取り除かれ、その心構えと事前の準備、実習の流れを知ることができた貴重な時間となった。

最後は特筆しておきたいこ

## 商学科 今市発電所見学

とは、2年生の多くが、「なぜもつとっつき、勉強しておかなかったのか」勉強が足りなかった」と猛省していたことである。教えられたことを、子どもたちに分かり易く説明できるまで明析にしておくべきだ、と1年生に向かって心から訴えたのである。

1月29日、商学科1年生が東京電力今市水力発電所の見学をおこなった。11時に目的地に向けて、学内を出発した。12時45分、エドモ鬼怒川ランドに到着。今市発電所の模型や水力発電の仕組み、そして「電気と暮らしの体験コーナー」などをゲーム感覚で自由に見学し、1時30分に今市発電所に向かった。

山道を30分登ると、そこにダム湖の湖面が視界に広がる。山の岩盤を卵のかたちに削りぬいた地下空洞に発電所がある。3基の発電機が装備された最大出力百五十キロワットの国内最大級の揚水式発電所である。

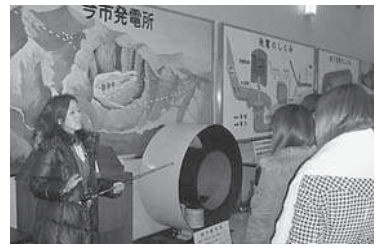
(次ページへ)

発電所内の変圧器で、一万五千ボルトの電圧を五十万ボルトの高い電圧にあげて、消費地に送電している。栃木県の3分の1の電力をまかなっているという説明を受けた。

3時に発電所内の見学を終え、5時に学内で解散した。

昭和63年7月にこの設備が完成した。学生は二班にわかれて説明を受けた。

今市ダムの70メートルほどの高さに栗山ダムがある。そのダムから水を落として電気を作っている。電力使用量の少ない夜になると、余裕のある電気を使って、今市ダムの水を栗山ダムに汲み上げる。この発電所では、水を落としたり汲み上げたりして電気を作っている。



東京電力今市水力発電所で担当の方から説明を受ける

## 家政学科

### フード系見学会 救急法講習会

#### フード系見学会

フードスペシャリストを目指す家政学科1年生17名を対象として、フード見学会が2月12日に行われた。真冬の2月に実施したのは初の試みで、朝から粉雪が舞う寒い日であった。見学先は栃木県南公設地方卸売市場、フレンチレストラン向日葵、日本ハム茨城工場の3カ所であった。



栃木県南公設地方卸売市場で花きのせりの説明を受ける

今年は新しい企画として、市場での花きのせり売りを加えた。花きのせりは、売手である卸売業者が最高値を決め、そこから値段を下げていき、値段が高い順にせり落とされ、青果・水産物とは反対のせり方法を学んだ。日本ハムでは

ソーセージが製品になるまで製造工程を見学し、最後に試食会を行った。徹底した衛生管理、地球環境を守るための取り組み等は新しい発見であった。フードスペシャリスト取得に向け、大いに刺激になったと思われる。

#### 赤十字救急法基礎講習会

去る2月16日、家政学科1年生養護教諭課程履修者21名を対象に、「赤十字救急法基礎講習会」が行われた。今回は、2年間でスキルアップを考慮した講習会である。



二人ペアになり、一次救急法の実技を行う学生

10時から赤十字救急法についての講義の後、二人ペアになって一次救急法として、气道確保・人工呼吸・心臓マッサージ・AEDを用いた除細動の実技が行われた。15時から、実技・筆記試験があり、

その結果全員に認定証が交付された。

今回の基礎講習認定証を得たことにより、2年次の救急員要請講習につなぐことができた。

### 第32回 人形劇部定期公演会



「こびとのかつや」の一場面

第32回人形劇部ブッペツベの定期公演会が、12月13日、おおひら町民ホールで開催された。最初に本学園附属二杉幼稚園年長児による歌の披露、つづいて学生によるエプロンシアター、手遊びやゲームの後、人形劇「こびとのかつや」を披露した。練習時間の確保は困難だったが、人形劇部以外の学生の協力もあり印象に残る舞台を作り上げることができた。

## 第43期生 編入学速報

### 國學院大學編入学試験結果

#### ◆系列編入学合格者

|                |        |       |     |
|----------------|--------|-------|-----|
| 文学部日本文学科       | フレックスB | 国文学科  | 23名 |
| 文学部中国文学科       | フレックスB | 国文学科  | 0名  |
| 文学部史学科         | フレックスB | 日本史学科 | 18名 |
| 文学部史学科         | フレックスA | 日本史学科 | 5名  |
| 経済学部経済学科       |        | 商学科   | 3名  |
| 経済学部経済ネットワーク学科 |        | 商学科   | 1名  |
| 経済学部経営学科       |        | 商学科   | 4名  |

#### ◆一般編入学合格者

|          |     |    |
|----------|-----|----|
| 経済学部経済学科 | 商学科 | 1名 |
|----------|-----|----|

#### 他大学編入学試験結果

|                       |       |    |
|-----------------------|-------|----|
| 埼玉県立大学 保健医療福祉学部健康開発学科 | 家政学科  | 1名 |
| 東京家政学院大学 家政学部家政学科     | 家政学科  | 1名 |
| 鎌倉女子大学 家政学部家政保健学科     | 家政学科  | 1名 |
| 東北学院大学 文学部歴史学科        | 日本史学科 | 1名 |

(平成22年2月28日現在)



## 卒業生の皆さまへ

卒業生の皆さんと大学との連絡窓口は教学部です。各種証明書の交付申請等、詳しくは本学のホームページ【卒業生の方】事務局告知板をご覧ください。また、図書館では、閲覧・貸出・複写サービスを行っています。卒業後もぜひご利用ください。

本学ホームページアドレス

<http://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai/>

平成21年度 国文学科 公開講座  
日本文学における“笑い”

|       |                      |         |       |
|-------|----------------------|---------|-------|
| 1月23日 | 笑ふ神々ー記紀神話からー         | 名誉教授    | 小林 吉一 |
| 1月30日 | 中世説話集に見える“笑う”と“笑える話” | 教授      | 千明 守  |
| 2月13日 | 源氏物語の笑い              | 教授 文学博士 | 林田 孝和 |
| 2月20日 | 芭蕉俳諧の“笑い”            | 教授      | 塚越 義幸 |
| 2月27日 | 近世文学に見える“笑い”         | 教授      | 田中 憲二 |
| 3月13日 | 賢治は笑う                | 准教授     | 大山 尚  |

(時間) 14:00～15:30 (場所) 教育センター

## 報 事

## ■行事・集会■

- 12月 2日 家政学科先輩の就職体験談  
7日～11日 国文・日本史学科卒業研究提出  
9日 初等教育学科教育実習報告会  
16日 初等教育学科特別講演会  
20日 フードスペシャリスト認定試験  
21日～24日 集中講義・補習講義  
21日～22日 日本史学科古文書調査実習  
22日 日本史学科歴史民俗学フィールドワーク  
23日 日本史学科江戸東京博物館見学  
25日～1月6日 冬季休暇
- 1月 7日 授業再開  
22日 初等教育学科卒業研究・制作提出  
25日 家政学科2年生臨床実習発表会  
28日～2月1日 集中講義・補習講義  
29日 家政学科2年生二杉幼稚園視察  
29日 商学科1年生TEPCO鬼怒川ランド・水力発電所見学
- 2月 2日～9日 後期試験  
6日 A方式・センター型・奨学生入学試験  
10日 進路ガイダンス  
10日～11日 日本史学科1年生考古学フィールドワーク  
11日 第32回定期演奏会  
12日 家政学科1年生フード系見学会  
12日 國大編入者入学前ガイダンス  
15日 後期試験結果発表  
15日 日本史学科卒業研究発表会  
15日～19日 初等教育学科小・幼コース教育実習Ⅱ  
15日～27日 初等教育学科幼・保コース保育所実習Ⅰ  
16日 家政学科1年生赤十字救急法基礎講習会  
18日～19日 初等教育学科筑波大学附属小学校参観  
18日～20日 後期追・再試験  
21日～23日 スキー・スノボ実習  
27日 卒業確定者発表
- 3月 6日 B方式・センター型・國大受験者対象入学試験  
15日～27日 初等教育学科幼・保コース施設実習Ⅰ  
17日 卒業式予行  
18日 第43回卒業式

## 本学および関係者出版紹介

- 本学国文学会発行 野州國文學第83号
- 本学初等教育学科発行 夏期教育研修の記録第42号
- 本学史学会発行 栃木史学第24号
- 本学商学会発行 國學院商学第19号

## 平成21年度 サークル・ゼミ活動報告

平常活動以外の合宿・遠征等

| 団 体 名       | 期 間         | 活 動                      |
|-------------|-------------|--------------------------|
| 博物館学研究会     | 6.6         | 国立西洋美術館見学                |
| 物と伝承の会      | 6.6         | 国立西洋美術館見学                |
| 茶 道 部       | 7.1         | 七夕茶会の稽古                  |
| 文芸美術コース1年生  | 7.8         | 群馬県立歴史博物館見学              |
| 民俗学研究会      | 8.9～8.10    | 群馬県太田市生品神社参拝・新田氏ゆかりの地見学  |
| 美術工芸部       | 8.10～8.11   | 七宝焼などの制作                 |
| 近世史研究会      | 8.11        | 江戸東京博物館見学                |
| コーラス部       | 8.10～8.12   | 質向上を目指す合唱練習              |
| 東洋史研究会      | 8.16        | 東京国立博物館・コニヤ堂・湯島聖堂・神田明神見学 |
| 中国語研究会      | 8.16        | 東京国立博物館・コニヤ堂・湯島聖堂・神田明神見学 |
| 古代史研究会      | 8.23～8.25   | 京都・奈良の寺院・史跡見学            |
| 写 真 部       | 8.26～8.27   | 神奈川県鎌倉周辺撮影会              |
| 堀 江 ゼ ミ     | 8.31～9.2    | 卒業研究中間報告と親睦会             |
| 寺 崎 ゼ ミ     | 8.31～9.2    | 卒業研究中間報告会                |
| 近世史研究会      | 9.1～9.2     | 岐阜県高山市周辺散策               |
| 近代史研究会      | 9.2～9.3     | 福島県会津武家屋敷・鶴ヶ城見学          |
| 酒 寄 ゼ ミ     | 9.5         | 卒業研究中間報告会                |
| コーラス部       | 9.11～9.12   | 質向上を目指す合唱練習              |
| 中 塩 ゼ ミ     | 9.13～9.15   | 卒業研究中間報告と親睦会             |
| バドミントン部     | 9.14～9.16   | 技術向上のための練習と親睦会           |
| 千 明 ゼ ミ     | 9.14～9.15   | 鎌倉周辺散策                   |
| 中世史研究会      | 9.17～9.18   | 岐阜市歴史博物館見学               |
| 考古学研究会      | 9.15～9.22   | 栃木市岡田遺跡の発掘調査             |
| 佐 多 ゼ ミ     | 9.17～9.18   | 岐阜市歴史博物館・名古屋ポスター美術館見学    |
| 伊 藤 ゼ ミ     | 9.17～9.19   | 奈良県明日香村に万葉の故郷を訪ねる        |
| 落 語 研究会     | 9.22        | 東京都新宿木広亭にて落語鑑賞           |
| ソフトボール部     | 9.24～9.25   | 技術向上のための練習と親睦会           |
| 田 中 (正) ゼ ミ | 9.25        | 卒業研究中間報告会                |
| 書 道 部       | 10.20～10.21 | 斯花祭展示作品制作                |
| 茶 道 部       | 11.11～11.12 | 強化稽古                     |
| み たら し 会    | 11.25       | 放課後こども教室に参加              |
| み たら し 会    | 11.28       | 栃木市文化祭に参加                |
| 室内楽研究会      | 12.6        | 強化練習                     |
| 室内楽研究会      | 12.13       | 栃木県南地区アンサンブルコンテスト出場      |
| 人 形 劇 部     | 12.13       | 第32回定期公演会                |
| 学 生 会       | 12.18～12.19 | 役員改選・今年度の反省と次年度の計画       |
| み たら し 会    | 12.20       | クリスマス会                   |
| 室内楽研究会      | 12.23       | 栃木県アンサンブルコンテスト出場         |
| 室内楽研究会      | 1.23        | 東関東アンサンブルコンテスト出場         |
| コーラス部       | 2.9         | 定期演奏会のリハーサル              |
| 室内楽研究会      | 2.11        | 第32回定期演奏会に参加             |
| コーラス部       | 2.11        | 第32回定期演奏会に参加             |

院友と斯花会員とが、合同で研鑽、親睦の場を設けることを提唱された。当日は、会場鳥山城カントリークラブ臥竜閣に、院友会から栃木県支部、長細久藤策先生、桑野先生、平塚正一郎教育委員長、和田貞夫なす風土記の丘資料館館長、本学から石坂昌閑学生課長、斯花会からは塚田幸子教諭（3期国文）はじめ菊池悠子学芸員（38期日本史）まで10名が参集した。学校の統廃合、即応が大切な養護教諭の仕事、博物館の運営まで、夜遅くまで、話し合った。

同窓の絆が  
成長につながる

1月29日、栃木県那珂川町教育委員会管内の、幼稚園・学校・博物館などに勤務する本学出身教職員が集い斯花会を催した。開催のきっかけは教育長、桑野正光先生（國學院大學74期）が、管内に本学出身者が多数勤務し、熱心に取り組んでいることを知ったことにある。そこで、地区の

## 第32回定期演奏会

第32回定期演奏会は、2月11日午後2時より、栃本市文化会館大ホールにおいて行われた。

第1部は、恒例の本学合唱団による学生歌「芙蓉を仰ぐ」の演奏で幕が上がり、次いで、初等教育学科1年生女子・本学合唱団2年生・本学合唱団卒業生による女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」を演奏。つづいて、初等教育学科1年生男子・2年生全員と室内楽研究会による混声合唱と器楽合奏で、「上を向いて歩こう」・「夜空ノムコウ」を演奏。



白いドレスを身に纏い、女声合唱曲集他7曲を演奏する本学合唱団

第2部は、室内楽研究会の部員による打楽器五重奏で、「Bacchante」と「イントロダクション&ダンスNo.2」が

演奏された。つづいて、小川裕二教授によるバリトン独唱「落葉松」が演奏された。

第3部は、本学合唱団により、女声合唱曲集「地平線のかたへ」より4曲、そして「合唱コンクールから生まれた名曲」3曲が演奏された。この日のために厳しい練習を重ねてきた学生は、客席からの喝采を浴びた瞬間に、改めて自分の経験を誇りに感じたであろう。

室内楽研究会  
東関東大会出場

東関東大会銅賞受賞の打楽器五重奏

写真提供：柳フォトライフ

12月13日、第2回栃木県南地区アンサンブルコンテスト（壬生町中央公民館）に、室内楽研究会から打楽器五重奏3チームが出場し、金賞・銀賞を受賞した。金賞受賞チームは、12月23日、第41回栃木県アンサンブルコンテスト

## 進路支援



「強み発見LIVE」講師の三井豊久氏

2年生の就職内定状況は、一昨年初以降の経済不況の影響を受け、当初の予想以上に厳しいものとなった。特に、前年度と比べて昨年度以降の求人数が激減したこともあり、苦戦を強いられた。そこで、今年1月28日、2年生で就職が内定していない学生限定のセミナー「強み発見LIVE」を、有限会社ルーマス代表・強み引き出し研究所所長三井豊久氏を講師に迎えて開催した。最初に「会社とは何か」「仕

（栃本市文化会館）に出場して銀賞を受賞し、栃木県代表として東関東大会へ推薦された。第15回東関東アンサンブルコンテスト（君津市民文化ホール）は、1月23日に開催され、打楽器五重奏で銅賞を受賞した。

事とは何か」が話された後、学生一人ひとりの強みが丁寧引き出された。参加学生は気持ちよく楽になり、自分に自信が持てたと感想を述べた。自己を知る意味を理解できたようである。参加した学生がその後就職試験を受け、内定を獲得した報告も続いている。1年生については、今年度に引き続き企業等の厳選採用が見込まれる状況を踏まえて、進路ガイダンスを次の通り実施した。○5月27日インターンシップのすすめ○7月1日職業意識啓発セミナー○10月21日マイナビの登録の仕方と活用法○10月21・28日就職模擬試験○12月2日一般企業・医療・幼稚園内定者、公務員試験合格者による先輩の就職活動体験談○1月13日就職実践指導ガイダンス○2月10日公務員・教員・保育士ガイダンス／編入学ガイダンス

日々の経験と努力が自分の活力になり、自信に繋がるものである。説明会等に積極的に参加して情報を収集し、目的意識を高く持って就職試験に臨んでいただきたい。相談や質問は学生支援室まで。

産経新聞「談話室」欄（二月二六日）に、バンクーバー冬季五輪のスノーボード日本代表選手の服装問題に寄せられた新潟県三条市の松野恵一さんの声。

「人間は外見より中身が大事だ、というひとがいる。確かに人間性は大事なポイントのひとつだと思う。しかし、まずは相手によい印象を与えることが大事だ。第一印象がよいにこしたことはない。よい印象はまず服装からだ。印象を判断するのに要する時間は心理学者によると三十秒から四十秒だそうだ。この第一印象は、良くも悪くも約三年間は人の思いに残るといわれるから驚く。第一印象を構成するのは「視覚」「聴覚」「内容」の三つだが、そのうち視覚は五五％で断然大きい。聴覚は言葉遣い、声、トーンなどで三八％、内容となるとわずかに七％になっている。身だしなみがいかに大事であるかが分かる。おしやれば自分らしさを求めているためにやり、身だしなみは相手がいって相手のためにやること。TPOを考えた身だしなみができて、本当のおしやれができるというものだ。」（好）